

「市電でクリスマスパーティ」開催!



コカ・コーラの期間限定リボンボトルで乾杯!



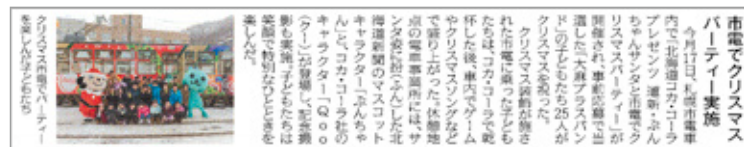
「サンタさん」からの手紙に驚喜ぶ子どもたち



札幌の冬の風物詩
「コカ・コーラクリスマス電車」



2016年12月25日朝刊 全道版 全15段



本社広告局
営業本部
営業第一部
朝賀 美帆

昨年12月17日、札幌市電の「コカ・コーラクリスマス電車」に小学生を招き、クリスマスパーティを開催しました。これは「サンタクロース捜索企画」のイベントの一つで、北海道コカ・コーラボトリング(株)のご協賛をいただき実施したものです。

紙面に参加募集をし、見事当選したのは「大麻プラスチック」の小学生25人。コカ・コーラの期間限定リボンボトルで乾杯をし、クイズや手遊び歌などで楽しみました。途中、休憩地点の電車事業所で着ぐるみの「Qoo(クー)」とサンタ姿の「ぶんちゃん」が登場すると、子どもたちは歓声をあげて抱きつき大喜び。車内に戻ると、「サンタさん」から一人一人宛てた手紙が見つかるサプライズも。最後は、それぞれの目標や夢を発表し合いました。

ルーパ化した札幌市電での一周約1時間のパーティーでしたが、寒さも忘れるくらい笑顔と熱気で大盛り上がりイベントとなりました。その様子は、12月25日付の紙面で発信しました。

旭川の熱い冬 全国大会出場校を応援!



2016年12月24日朝刊
旭川版 全10段



2016年12月29日朝刊
旭川版 全15段



2016年12月26日朝刊
旭川版 全15段



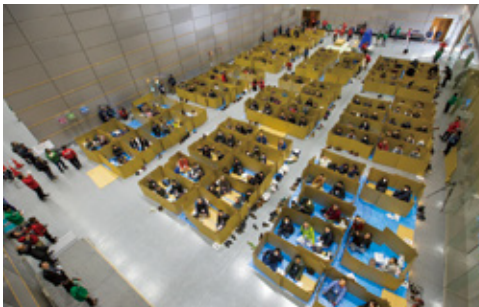
旭川支社
営業部
野島 隼人

2016年夏の深川・クラーク記念国際高校の甲子園初出場に続き、冬に行われた各種スポーツの全国大会にも旭川龍谷高等学校・女子駅伝チーム、旭川工業高等学校・ラグビー部、旭川実業高校・男子サッカー部と女子バレーボール部の3校4チームが出場を決めました。各大会が年末年始に集中するため、掲載までのスケジュールが非常にタイトで、企画が成立するか危惧されましたが、旭川営業部では一丸となって出場校にエールを送るべく企画を敢行しました。

大会に出場する選手や関係者にとっては「一生に一度」になるかもしれない大会。各校に伺った際には、インターネットをはじめ情報媒体が発達したとはいえ、「新聞に載る」のが特別な事と感じているというお話をされていたのが印象的でした。

これからも各スポーツの応援企画を通じて、選手、関係者への激励とともに記録と記憶に残る紙面を作っていきたいと思えます。

ぼうさいタウン



ダンボールパーティションに入り、避難所生活を体験



さまざまなプログラムが行われたイベント会場



2016年12月4日 朝刊 全道版 全15段



本社広告局
営業本部
営業第三部
前林 信吉

紙面では、全労済の火災共済事業開始60周年を周知するとともに、多くの道民に冬季の災害に備えることの大切さを伝えるためにイベント内容を採録して掲載しました。全労済からは掲載後、組合員や取引先から大きな反響があったとの言葉をいただきました。広告主と読者のために何ができるのか、今後とも考えていきたいと思います。

北海道労働者共済生活協同組合（全労済北海道本部）が道内で火災共済事業を開始して60年。同事業の60周年を記念して、昨年11月23日に札幌コンベンションセンターで冬季の防災・減災をテーマにしたイベント「ぼうさいタウン」が開催されました。

積雪寒冷地の北海道では、冬季に災害が発生すると甚大な被害を及ぼすことが考えられます。積雪の中での避難や、暖房が使用できない状況で身を守るためには、夏季とは違った防災対策を行うことが必要です。イベント当日は、全労済の組合員など約300人の参加者がマイナスイナス4度の寒さと雪の中、避難所生活の疑似体験などさまざまな体験メニューを通して、冬の災害への心構えと備えの大切さについて学びました。